

# 2015年度 第3回放送技術講座 2年生アナウンス大会 講評一覧

2016/01/24 実施

順	評価	講評など
---	----	------

## 審査員

鎌田 潤 (元コンテスト委員長)  
 秋本 みゆき (大阪市立南)  
 酒井 学 (府立堺西)  
 田名瀬 さゆり (府立渋谷)  
 平野 賢一 (近畿大学附属)  
 山本 武彦 (浪速)

5人の審査員が100点満点で採点し、合計500点で評価しました。  
 上位5人を優秀賞としました。  
 優秀賞まで1～5点の人をA評価、6点～45点の人をB評価、46点～の人をC評価としています。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 審査番号順に掲載しています。  
 個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会 放送コンテスト委員会

順	評価	講評など
1	優秀	素材や原稿は良い。もう少しゆっくり読んでも良い。発声・間の取り方に工夫が必要。
2	優秀	少しうねりあり。語尾が消えるところもある。並列の言い方や、「」の処理に工夫が必要。
3		欠席。
4	B	素材、話題は良い。のどに力が入っている。後半うねりが出てスタミナ切れ？抑揚や間の取り方に工夫が必要。もう少し声量があればなお良い。文化祭のアクセントに注意。
5		欠席。
6	B	話題は良いが、具体的な内容まで踏み込もう。第一文が長い。マイクによく乗る声だが、単調な読みで読んでいる感がある。抑揚に工夫が必要。
7	B	発声や間の取り方は良い。原稿で一番言いたいところを考えよう。AEDの説明が冗長。少し、うねりあり。
8	B	素材がよく、落ち着いた読み。もう少し遅いとなお良い。母音に癒着があり音がつぶれている。出だしが低い。名前が聞き取りにくいところあり。名詞の読みに注意しよう。発声や抑揚に工夫が必要。
9	B	素材がよく、よくマイクに乗る声だが、少し早くうたうように読んでいて、意味が伝わりにくい。少しうねりあり。引用文の読み方に注意。無声化、イントネーションに工夫が必要。『ツ』『ジ』『ス』『シ』に注意。
10	C	身近な話題だが、感想ではなく、ニュース原稿にすること。読むのではなく、意味が伝わるように。

## 2015年度 第3回放送技術講座 2年生アナウンス大会 講評一覧

2016/01/24 実施

順	評価	講評など
11	優秀	落ち着いた読みで、良くマイクに乗る声。先月が『てんげつ』など『サ行』に注意。音の幅が狭い。癒着が少しあり、また、力が入りすぎている感もある。文末の処理が甘い。
12	優秀	素材はよい。『レファレンス』のアクセント。インタビューにもう少し工夫が必要。「」の処理、少したてすぎている。文末を落として言葉をたてると良い。抑揚や間の取り方に工夫が必要。
13	B	素材はよいが、必要な情報をもう少しわかりやすく書こう。間の取り方が不自然(長すぎる)。後半が弱々しくなってくる。考え方のスタートと地の文との区別が不明瞭。
14	優秀	原稿は良く、意味の伝わる読みができています。主語が変わる箇所が少しわかりにくい。もう少しマイクに乗せたい。
15	B	ふわっとした発声で声は抜ける。声を前に出して意味の切れめを考えて読もう。リズムが一定なので間の取り方を考えよう。イントネーションやアクセントを勉強しよう。
16	B	力みすぎて怖く聞こえる。読むのではなくリスナーを意識して大事な言葉をたてて伝えよう。無声化、フレージング、イントネーションに注意。母音に癒着あり。
17	B	元気があり聞きやすい声だが、棒読みで、読んでいる感がある。少し羅列気味に聞こえる。後半は声の前に出てきた。アクセント、フレージングに注意。
18	C	少し棒読みで、山がなく読んでいる感がある。ふわっとした声で聞き取れないところがある。もう少し声を前に出そう。リスナーを意識して話すように読もう。
19	B	<b>【規定時間に注意】</b> テーマと内容が合っていない。原稿で前置きは不要。ニュース原稿として弱い。無声化、滑舌、アクセントなど基本的な練習を。句末が少し伸びる。
20	B	落ち着いた読みだが、もう少しゆっくり言葉を前に出せるよう工夫しよう。少し早いのでリスナーを意識して。はじめの音が低いので、文末が下がりきれない。「～とのことで」は伝聞なので、事実を伝えるアナウンス原稿としては不向き。
21	C	<b>【規定時間に注意】</b> 素材は良いが、暗く弱いので楽しそうに聞こえない。音の粒立てをはっきりし、区末文末の処理をしっかりとしよう。引用文の書き方に注意。間の取り方やリズムを工夫しよう。
22	B	発声は良くできているが、マイクの使い方が良くなく、乗りが悪い。名詞や曲名など聞いて理解できる読みを工夫しよう。箏曲部がやっている工夫をもっと具体的に伝えられると良くなる。
23	A	素材や発声は良い。少し早く強調したいところが流れてしまう。文末の処理やイントネーションに注意。
24	A	<b>【規定時間に注意】</b> 少しマイクに近い。抑揚が不自然。うねりがある。音の癒着や文末の伸びがみられる。「サ行」が少しはっきりしない。
25	B	声に張りがあるが、もう少しリラックスしよう。素材や原稿は良いが、台詞の部分、最後まで聞かないと主語がわからないので、谷川君が授業中に熱が入っているように思われてしまう。並列の言い方に注意。うねりあり。
26	A	力がある声で丁寧に読んでいるが、強弱にムラがあるように聞こえる。文末を落とそう。「賞賛されました」などはアナウンス原稿としては不向き。うねりあり。
27	B	原稿が良く、テンポもわかりやすいが、少し単調に聞こえる。切りすぎ感あり。「サ行」特に「セ」に注意。文頭をもう少し高くし、声の立て方に工夫しよう。